



いきものふれあいの里

「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎ 5144

よい一年に…

2月3日の節分には各地でさまざまな行事が行われます。最近では太巻きを無言で食べる『恵方巻き』が広まっていますが、昔から「鬼は外、福は内」と唱えながら炒った大豆をまき、最後に「鬼は外、福は内、駒の目はパチリ、鬼の目はピシャリ」と言いながら玄関の戸を閉めるという豆まきが多くの家庭で行われてきました。

そもそもこの風習は、季節の変わり目に生じると考えられていた邪気（鬼）を家から追い払うための行事です。また、鬼がイワシの頭の悪臭とヒイラギのとげを嫌って家に入らないようにと、ヒイラギの枝にイワシの頭を刺したものを玄関に付け、魔よけとしました。

ところが市内の多くの家庭では、ヒイラギではなく馬酔木（アセビ、アセボ）の枝を使ってきました。馬酔木はツツジ科の低木で、2月から4月に釣り鐘状の花をたくさん付けます。有毒成分を含んでおり、馬が食べると足がしびれて酔っ払ったようになることからこの名前が付けられました。ヒイラギの代わりにしたのは、おそらくこの毒を鬼が嫌って寄り付かなくなることや、どここの山にもたくさん生えている植物だからでしょう。

暦の上では節分が終わると立春、自然界では1年の始まりです。皆さんの無病息災を願いながら、春の訪れを待ち遠しく感じます。

森の日記

正月飾り作り 12月11日(日)

陶史の森にある植物を使ってミニ門松を作りました。ナンテンやソヨゴなど、おめでたいとされる赤い実を付けた植物を探し、竹や松などとともに飾り付けました。参加者の皆さんは、良いお正月が迎えられそうだと満足そうに持ち帰られました。



駅伝 12月20日(火)

肥田中学校校内駅伝大会が陶史の森で行われました。全校生徒約200人が駅伝の部と個人の部に参加し、最後まで真剣に走り抜きました。昨年から陶史の森内の1周約2kmの周回コースを設定し、自然の中での駅伝を行っています。陶史の森には多くの方が散策に訪れますが、ジョギングなどのコースとしても適しています。

教室のご案内

2月

- シイタケ教室(定員30人・要申込)
2月5日(日)午前9時～11時30分
ほだ木にシイタケの菌を打ち、育て方を学ぶ
※家族で参加の場合は、ほだ木を1家族2本用意します。
- バードウォッチング(自由参加)
2月26日(日)午前9時～11時30分
冬の野鳥を観察(雨天中止)

3月

- 自然教室(自由参加)
3月4日(日)午前9時～11時30分
春を待つ木の芽や草の芽を調べる
- バードウォッチング(自由参加)
3月25日(日)午前9時～11時30分
春の野鳥を観察(雨天中止)

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。